

AED(自動体外式除細動器)の使い方を学びましょう

AEDは心臓蘇生の救命機器で、文化会館、県立高校などの公共施設を中心に設置されています。

AED講習会については、お近くの保健所・消防署へお問い合わせください。

保健所や消防署が開催する講習会でAEDの使い方を学ぶことができます。

AED講習会問い合わせ先		電話番号
愛知県新城保健所	設楽支所	0536-62-0571
	本署	0536-22-1119
新城市消防署	作手出張所	0536-37-2466
	鳳来分署	0536-32-2888
	設楽分署	0536-62-2119
	津具分遣所	0536-83-2486
救急係	東栄分署	0536-76-1911
	豊根分遣所	0536-85-1199
	富山駐在所	0536-89-2100

平成17年6月から平成18年1月末までに、55回の講習会が開催され、600の方が受講されました！

※新城市消防署管内（新城市、設楽町、東栄町、豊根村）での実績

1月31日 新城保健所でAED講習会が開催されました。



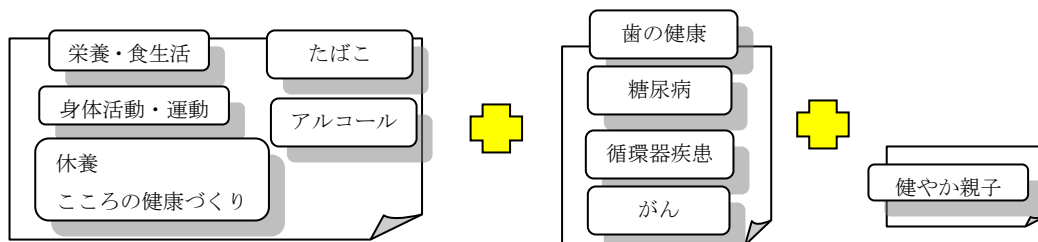
3月2日 新城保健所と設楽支所にAEDが設置されました。

(写真は新城保健所のものです)



健康日本21あいち計画

“すべての県民に健康を～生涯を通じて、健康でいきいき過ごす～”を基本目標に、10分野で具体的な目標値を設定し、県民の健康づくりを推進中です。



「あいち計画」の「**エアフィー**」です。よろしく



エアフィーとは、妖精を意味する英語の“fairy”を元にアルファベットを並び替えて作った造語です。太陽や空気が当たり前に存在しているように、健康であることが当たり前であいたい願いを含め、太陽のように明るく、空気のように自然な存在としてデザインしています。

長引く咳は赤信号

— 結核を予防しよう —

結核は今も最も注意すべき感染症です



結核は過去の病気のように思われがちですが、平成 16 年の発生患者数は全国 29,736 人、愛知県 1,811 人、死亡者数は全国 2,328 人、愛知県 138 人と、今でもわが国最大の感染症です。

結核はどんな病気

結核は、結核菌という細菌によって起こる感染症です。全身いたるところに起こりますが、ほとんどは肺の結核です。患者がせきやくしゃみをした時にそのしぶきの中に含まれる結核菌を吸い込むことで感染が起こります。感染後、免疫システムが成立し結核菌の増殖は抑えられ、大半は一生発病することなく過ごせますが、免疫の働きが不十分だったり、何らかの理由で免疫力が低下すると結核を発病します。

【 症状 】

- ◆せき 2週間以上続くようであれば「単なる風邪ではないかもしれない」と疑う必要があります。
- ◆たん いつもに比べて多くなったら注意が必要です。
- ◆胸の痛み 呼吸とともにチクツという胸の痛みを感じることがあります。
- ◆血たんや喀血 痰の中に血が混じったり血を吐くこともあります。
- ◆疲労感や倦怠感 「なんとなくだるい、疲れやすい」などの症状だけが出ることもあります。
- ◆微熱や寝汗
- ◆急激な体重減少 など

※ 高齢者ではせき、たん等の呼吸器症状が見られないこともありますので注意が必要です。

結核を防ぐには

— 予防のために —

- ① BCG接種を受けましょう。
結核菌の感染を受ける前に、菌から身体を守る力を強くし、感染しても結核になる可能性を下げ、重症化を防ぐためのワクチンです。結核の発病を抑え、重症化を防ぐのに役立ちます。市町村が行っている予防接種を生後6か月までにきちんと受けましょう。
- ② 免疫力が低下すると発病の危険が高くなるので、日頃から休養や睡眠を充分とるように心がけましょう。



— 早期発見のために —

- ① せきが2週間以上続く場合は早急に検査を受けることが大切です。せきの他にも結核を疑う症状があればきちんと検査を受けましょう。
- ② 年に1回は胸部エックス線検査などの健康診断を受けましょう。精密検査が必要といわれた場合は必ず受診することが必要です。
- ③ 身近な人が発病したら、検診を受けましょう。検査などの相談は、保健所へお問い合わせください。